

仁淀消防組合から

**9月9日が
何の日か
ご存じですか**



9(きゅう)と9(きゅう)で「きゅうきゅうの日」すなわち「救急の日」です。

「救急の日」は、救急業務及び救急医療に対して皆様方の理解と認識を深めていただくとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に昭和57年に定められました。以来、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間を「救急医療週間」(本年は9月9日～15日)として、全国各地において応急手当の講習会を中心とした救急に関する様々な行事が実施されています。仁淀消防組合では、管内事業所を対象とした『普通救命講習』の実施、店舗前等でのパンフレット配布を計画しています。



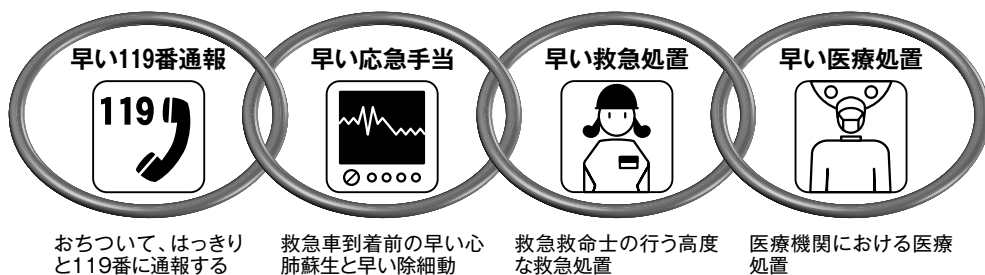
**定期普通
救命講習を
実施しています**

けがや急病などで呼吸や心臓が停止してしまった場合、人工呼吸や心臓マッサージは知識がないと適切な処置ができません。消防署で行う普通救命講習会にご参加ください。

講習時間は約3時間、講習内容は観察要領・心肺蘇生法・止血法・AEDの使用等方法等の講習を行い修了者には普通救命講習修了証を発行します。また、10名以上のグループであれば、消防署から出向き講習を実施します。現在、一般の方もAED(自動体外式除細動器・電気ショック)という機器を用いて除細動を行うことが認められています。町内でも公共施設、中学校等に設置されています。講習を受講し迅速、的確な取扱技術を身につけましょう。

講習実施日 毎月第2日曜日
9時30分～12時30分
消防署3階にて実施
申込受付 随時

救命の連鎖(Chain of Survival)



講習を希望される方は、左記消防署へお問い合わせください。

仁淀消防組合消防署
☎ 893-3221
仁淀消防組合吾北分署
☎ 867-2812

年金 新農業者年金に 加入しましょう

対象になり、年金給付についても公的年金控除の対象になります。

少子・高齢化、財政事情の悪化などから、年金に対する不信感が広がっていますが、新しい農業者年金は、自分が掛けた保険金を運用し、将来年金として受給する確定拠出型年金で、加入者数や財政事情に左右されない、今の時代にぴったりの安全・安心な公的年金です。担い手への保険料の助成や税金控除など多くのメリットがあり、農業者の確保に資する政策年金として農政上も位置付けられています。

■新しい制度の特色

①農業従事者なら誰でも加入
国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方は、農地を持つていなくても加入できます。

②保険料は自由に選択
毎月の保険料は2万円を基本として、最高6万7千円まで千円単位で選択できます。また、減額・増額はいつでもできるようになっています。

③税制面で大きな優遇措置
保険料は全額社会保険料の

④意欲ある担い手農業者に助成
認定農業者等一定の要件を備えた意欲ある担い手農業者に対し、保険料(月額2万円)の2割、3割又は5割の政策支援(国庫助成)があります。

⑤積立方式で安定した財政運営
将来受給する年金を自らが年金原資を積み立てるので、少子高齢化の進展にも対応でき、長期に安定した年金制度になっています。

⑥80歳までの保証がついた終身年金
年金は終身受給できますが、加入者や受給者が80歳になる前に亡くなった場合は、80歳までに受け取るはずの金額を死亡一時金として遺族の方が受け取れます。

農業者年金の加入等に関するお問い合わせは、農業協同組合、又はいの町農業委員会(☎ 893-1115)・吾北総合支所産業課(☎ 867-2313)・本川総合支所産業建設課(☎ 869-2111)までお願いします。